ボーリング柱状図

調　査　名　　暫定　柱状図

ボーリングNo.

事業･工事名　　次期可燃ごみ処理施設地質調査業務

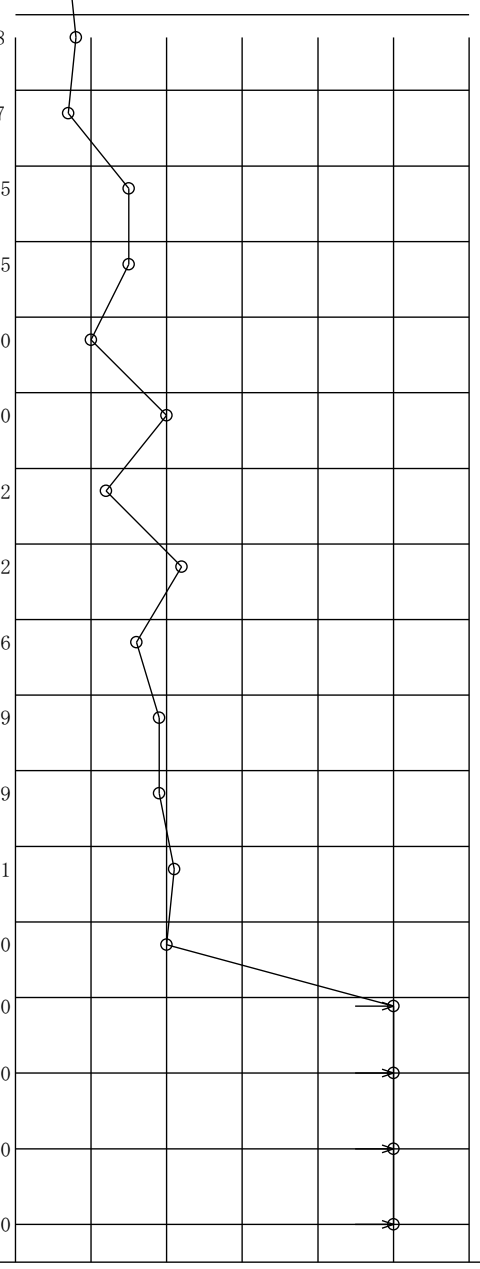
シートNo.

ボーリング名	H29BPNo.1	調査位置	島根県出雲市古志町地内			北　緯	35° 18’ 34.5827″
発 注 機 関	出雲市			調査期間	平成29年12月18日～29年12月26日	東　経	132° 44’ 35.9858″
調査業者名	株式会社トーワエンジニアリング 電話 (0853(24)1102)	主任技師	松井　和彦	現　場 代理人		コ　ア 鑑定者	松井　和彦	ボーリング責任者	
孔口標高	TP +207.94m	角度	180° 上 / 90° / 下 0° / 0°	方向	北 0° / 270° 西 / 90° 東 / 180° 南	地盤勾配	水平 0° / 鉛直 90° / 0°	使用機種	試 錐 機	東邦　D-1	ハンマー落下用具	半自動
総掘進長	39.00m								エンジン	ヤンマー NS90C	ポ ン プ	東邦　BG-3

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位m／測定月日	標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量cm	N値	原位置試験 深度 m	試験名および結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1					礫質粘土	褐～灰～暗赤褐～橙			礫はφ=5～30mmの砕石～短柱状の安山岩角礫で、20～50%程度不均質に混じる。 粘性中位。		1.15	2	3	2	7	7							
2											1.45		12	8	30								
											2.15	7	8	15	30	30							
3											2.45	11	9		30								12/18
											3.15	4	4	7	15	15							
4											3.45				30								
											4.15	6	8	6	20	20							
5											4.45		11	9	30								
											5.15	8	9	7	24	24							
6											5.45	11	9		30								
											6.15	2	1	2	5	5							
7											6.45	12	7	11	30								
											7.15	1	2	1	4	4							
8											7.45	7	15	8	30								
	199.54	8.40	8.40								8.15	7	5	6	18	18							12/19
9					礫質土	暗灰			概ね均質な土質。 礫はφ=5～30mmの硬質な安山岩角礫を主体とし、φ=50mmが点在する。 粘土および砂が混入する。		8.45	11	9		30								
											9.15	6	5	6	17	17							
10											9.45				30								
											10.15	7	17	19	43	43							
11											10.45				30								
											11.15	13	8	9	30	30							
12											11.45		11	9	30								
											12.15	9	7	9	25	25							
13											12.45	11	9		30								
	194.24	5.30	13.70								13.15	8	7	8	23	23							
14					礫混り粘土	褐			凝灰岩風化粘土 未風化の礫φ=5～50mmが10%程度混じる。		13.45				30								
	193.49	0.75	14.45								14.15	4	3	3	10	10							12/20
15					粘土混り礫	暗灰			概ね均質な土質。 礫はφ=5～50mmの安山岩角礫を主体とし、砂混じり粘土を含有する。 GL-16.7m付近、L=120mmの玉石混入。 GL-18.5mから礫分が増加する。 GL-19.0mからは、細粒分が増加する。		14.45	9	11		30								
											15.15	8	9	13	30	30							
16											15.45				30								
											16.15	13	23	10	46	46							
17											16.45				30								
											17.15	4	11	6	21	21							
18											17.45				30								
											18.15	11	12	12	35	35							
19											18.45				30								
	188.49	5.00	19.45								19.15	7	6	7	20	20							12/21
20					礫混り粘土	褐～暗灰～褐			概ね均質な土質。 礫はφ=5～20mmの角礫で、10%程度混じる。 粘性中位。 GL-21.5m付近、木片混入する。		19.45				30								
											20.15	2	3	3	8	8							
21											20.45				30								
											21.15	2	2	2	6	6							
22											21.45	13	8	9	30								
											22.15	2	3	2	7	7							
23											22.45	9	12	9	30								
											23.15	3	2	3	8	8							
24											23.45	12	7	11	30								
											24.15	2	2	3	7	7							
25											24.46			11	31								12/22
											25.15	6	6	3	15	15							

180.14	8.35	27.80	礫混り粘土	褐～暗灰～褐			概ね均質な土質。 礫はφ=5～20mmの角礫で、10%程度混じる。 粘性中位。 GL-21.5m付近、木片混入する。
174.14	6.00	33.80	礫混り粘土	褐～赤褐			おおむね均質な凝灰岩風化粘土で所々岩相を残す。 φ=5～20mmの凝灰岩風化礫を10%程度含有する。 所々、φ=30～50mmの硬質な安山岩礫をを含有する。 GL-26.6～26.7m炭化した木片を含有する。 粘性大。
171.94	2.20	36.00	粘土混り礫	暗灰			礫はφ=5～30mmの角礫で、50～70%程度混じる。 35.70m付近L=15cmの玉石混入。
168.94	3.00	39.00	礫質凝灰岩	灰～暗灰～青緑			礫～柱状に採取される。 GL-38m付近まで、安山岩と凝灰岩が不均質に混じり、以深は凝灰岩が主体となる。 GL-37.75～38.1m間は破砕され、砂状～礫状を呈する。 間隔が数cm～15cm、角度45～70°程度の亀裂が発達している。

23.15					
23.45	3	2	3	8	8
24.15	12	7	11	30	
24.46	2	2	3	7	7
25.15			11	31	
25.45	6	6	3	15	15
26.15	11		9	30	
26.45	6	4	5	15	15
27.15		11	9	30	
27.45	4	3	3	10	10
28.15	11	8	11	30	
28.45	8	7	5	20	20
29.15				30	
29.45	4	4	4	12	12
30.15	11	9		30	
30.45	2	4	16	22	22
31.15	12	8		30	
31.45	4	5	7	16	16
32.15	8	12		30	
32.45	6	6	7	19	19
33.15				30	
33.45	6	6	7	19	19
34.15				30	
34.45	8	7	6	21	21
35.15	11		9	30	
35.45	6	7	7	20	20
36.05		11	9	30	
36.18	27	23		50	50
37.00		3		13	
37.00	50			50	50
38.00	0			0	
38.00	50			50	50
39.00	0			0	
39.00	50			50	50
	0			0	



12/22
12/23
12/25
12/26